

“ほかに代わりが見つけれない” 存在であり続けること

あの頃はかなりもてはやされ、あちこちでたくさんすれ違ったのに、
今では“絶滅危惧車”のひとつに数えられてるアルファロメオ156。
“美”の定義にはいろいろあるから異論もあるだろうけど、
このクルマ以上に美しく扇情的なセダンを私はいまだに見つけれないでいる。
それにたかが4気筒、たかが2リッターだというのに、
常に心をくすぐるような美しいサウンドを聴かせてくれる官能的なエンジンも、私はいまだに見つけれないでいる。
ワンオーナーのまま20年近く、20万キロ近くを一緒に過ごしてきたけれど、
それは買い換える理由というのを見つけれないでいるからだ。
そして定期的な点検と整備程度でそれほど手間もかけず好調で来られたのは、
わりと早い段階から『ゾイル』を使い続けてるからだと思う。
さすがに初めてその潤滑性能を体験したときほどの驚きこそないが、
内部の金属パーツの保護を開発の目的にしたというだけあって
そう豊かでもないパワーも気持ちのいい吹け、回転感覚、サウンドも、
10年ほど前の記憶と較べて全く目減りしてる気がしない。弱った感じもない。
ここまでつきあったら一生モノ、私の156は滅びない、とすら思う。
これに代わる有効な基本メンテナンスも、私はいまだに見つけれないでいるのだ。



SUPER ZOIL for 4cycle
200ml・¥6,800/320ml・¥9,800/450ml・¥12,800/4000ml・¥100,000
(全て税別)



株式会社パパコーポレーション
Tel 03-3589-8000 Fax 03-3589-8080
e-mail / info@superzoil.com

パンフレット、資料請求は—

www.superzoil.com

*ホームページが新しくなりました